☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆ 輝く地域の星となれ ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

報道で見る氷上西高　２０１８

神戸新聞　平成３０年５月５日（土）

スパーリング49試合で熱戦

地元ジムが「ボクシングショー」

氷上西高生がアナウンスなど担当

青垣

小学生から大人までがスパーリングを披露する「第24回ボクシングショー」がこのほど、丹波市青垣町佐治の青垣住民センターで開かれた。近くの氷上西高校の生徒が会場アナウンスなどで初めて参加し、対戦を盛り上げた。（金　慶順）

激しく打ち合う小学生＝いずれも青垣住民センター

「丹波入江ボクシングジム」（同市青垣町沢野）が九州や四国、岐阜などのジムを招いて年に数回催している。今回は特設リングで49試合を戦った。

出場者は序盤から激しく打ち合いを見せた。1年半前から同ジムに通う多可町立中町北小学校3年の高永琉星（るい）君（8）はポイント勝ちを決め、「緊張したけど楽しかった」と話した。

同ジムの呼び掛けで、試合の前後には氷上西高校の吹奏楽部とダンス部が演奏やダンスを披露。フットサル部はリング設営を手伝った。吹奏楽部2年の植野真心さん（16）は「リングの上で演奏するなんて初めてで光栄。アナウンスも体験して、ボクシングが好きになりました」と笑顔だった。

試合前にリング上で演奏を披露する氷上西高校の吹奏楽部